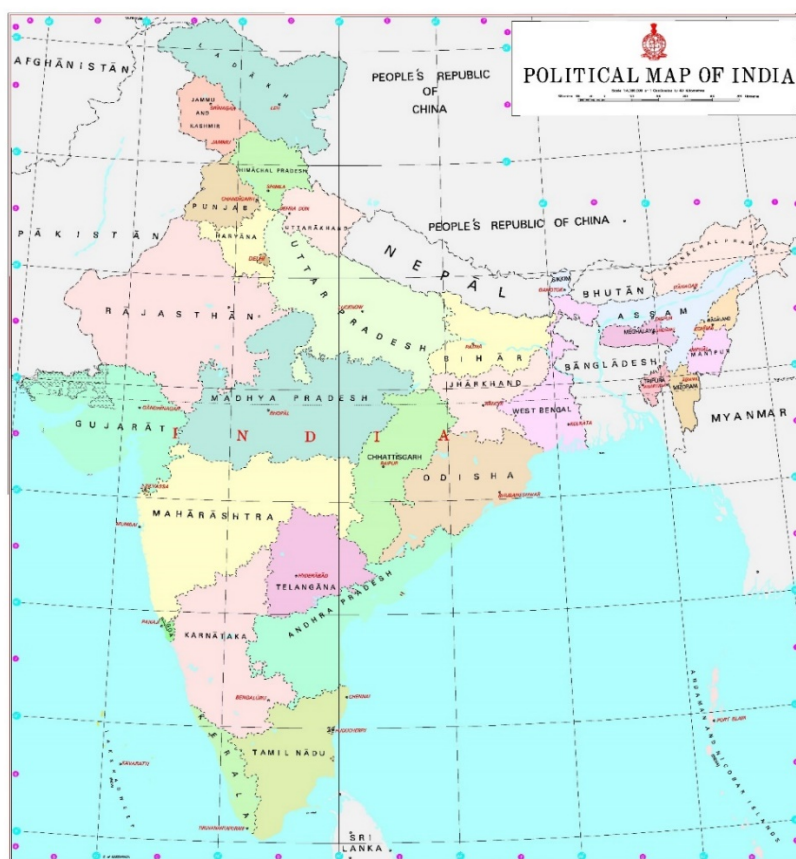


第24章 地域別の概要

1. 地域分類と地域別の人口

インドの国土面積は 328.7 万 km²、世界で 7 番目に広く、日本の国土面積の約 8.7 倍に相当する。「第 1 章 概要」で既述の通り、インドは宗教、文化、言語、気候などの面で著しい多様性が見られるが、本章では便宜的にインドの国土を北部、西部、南部、東部の 4 つに区分した³⁹。州別の面積と人口では、それぞれラジャスタン州 (34 万 km²)、ウッタル・プラデシュ州 (約 2 億人) が最大である。

図表 24-1 インドの地域マップ



(注) インド内務省が示している地図。

(出所) 内務省

³⁹ インド内務省 (Ministry of Home Affairs) によると、インドの国土は北部、中央部、東部、西部、南部、北東部の 6 つに分類されるが、本書では各州の経済関係や日本企業の進出動向を踏まえ、北部と中央部、東部と北東部とをそれぞれ統合して「北部」、「東部」と区分した。また、上の分類に含まれない島嶼部 (アンドマン・ニコバル諸島連邦直轄領、ラクシャディーブ連邦直轄領) については、便宜的に南部に含めた。

図表 24-2 各州の面積、人口比較

	面積		人口	
	km ²	構成比	人	構成比
全国	3,286,835	100.0%	1,210,203,548	100.0%
北部	1,454,174	44.2%	466,963,172	38.6%
ウッタル・プラデシュ	240,928	7.3%	199,812,341	16.5%
ラジャスタン	342,239	10.4%	68,548,437	5.7%
マディヤ・プラデシュ	308,252	9.4%	72,626,809	6.0%
* デリー	1,483	0.0%	16,787,941	1.4%
ハリヤナ	44,212	1.3%	25,351,462	2.1%
パンジャブ	50,362	1.5%	27,743,338	2.3%
チャッティスガル	135,192	4.1%	25,545,198	2.1%
ウッタラカンド	53,483	1.6%	10,086,292	0.8%
ヒマチャル・プラデシュ	55,673	1.7%	6,864,602	0.6%
ジャンム・カシミール	222,236	6.8%	12,541,302	1.0%
* チャンディガル	114	0.0%	1,055,450	0.1%
西部	507,659	15.4%	174,272,570	14.4%
マハラシュトラ	307,713	9.4%	112,374,333	9.3%
グジャラート	196,244	6.0%	60,439,692	5.0%
ゴア	3,702	0.1%	1,458,545	0.1%
南部	644,487	19.6%	252,857,699	20.9%
タミルナドゥ	130,060	4.0%	72,147,030	6.0%
カルナタカ	191,791	5.8%	61,095,297	5.0%
アンドラ・プラデシュ	275,045	8.4%	84,580,777	7.0%
テランガナ				
ケララ	38,852	1.2%	33,406,061	2.8%
* ポンディシェリ	490	0.0%	1,247,953	0.1%
* アンダマン・ニコバル諸島	8,249	0.3%	380,581	0.0%
東部	680,515	20.7%	316,110,107	26.1%
* 西ベンガル	88,752	2.7%	91,276,115	7.5%
ビハール	94,163	2.9%	104,099,452	8.6%
オリッサ	155,707	4.7%	41,974,218	3.5%
アッサム	78,438	2.4%	31,205,576	2.6%
ジャルカンド	79,714	2.4%	32,988,134	2.7%
トリプラ	10,486	0.3%	3,673,917	0.3%
メガラヤ	22,429	0.7%	2,966,889	0.2%
ナガランド	16,579	0.5%	1,978,502	0.2%
マニプル	22,327	0.7%	2,855,794	0.2%
シッキム	7,096	0.2%	610,577	0.1%
アナチャル・プラデシュ	83,743	2.5%	1,383,727	0.1%
ミゾラム	21,081	0.6%	1,097,206	0.1%

(注) *印は連邦直轄領。ダマン・ディーウ連邦直轄領、ダードラー及びナガル・ハヴエーリー連邦直轄領、ラクシャディープ連邦直轄領を除く

(出所) 中央統計局、World Atlas 「The States Of India By Land Area」より作成

2. 地域別の 1 人あたり GDP

図表 24-3 は 2019 年度の州別名目 GDP と州別の 1 人あたり GDP である。州別では金融・商業都市ムンバイや製造業の集積が進むプネなど大都市を擁する西部マハラシュトラ州が最も GDP が高く、約 3.9 億ドルとなっている。次いで南部タミル・ナドゥ州、北部ウッタル・プラデシュ州と続く。

1 人あたり GDP では、ゴア州、デリー連邦直轄領、シッキム州、チャンディガル連邦直轄領が全国平均の 2 倍を超えているが、デリーを除くといずれも人口の少ない州や連邦直轄領である。地域別のトレンドとしては、南部、西部に 1 人あたり GDP が全国平均以上を上回る比較的裕福な州が多く、逆に東部地域には貧困州が多い。なお、北東部の諸州（アッサム、アナチャル・プラデシュ、マニプル、トリプラ、ミゾラム、メガラヤ、ナガランド）には経済的な後発州が多いため、連邦政府による開発支援が重点的に行われている。

図表 24-3 地域別 1人あたり GDP (2019 年度)

	名目 GDP		1人あたり GDP	
	100万ドル	構成比	ドル	全国=100
全国	2,930,111	100.0%	2,421	100
北部	952,211	32.5%	2,039	84
ウッタール・プラデシュ	238,066	8.1%	1,191	49
ラジャスタン	140,909	4.8%	2,056	85
マディヤ・プラデシュ	132,221	4.5%	1,821	75
* デリー	117,194	4.0%	6,981	288
ハリヤナ	110,105	3.8%	4,343	179
パンジャブ	76,123	2.6%	2,744	113
チャットティスガル	48,656	1.7%	1,905	79
ウッタラカンド	35,780	1.2%	3,547	147
ヒマチャル・プラデシュ	22,965	0.8%	3,345	138
ジャンム・カシミール	24,032	0.8%	1,916	79
* チャンディガル	6,160	0.2%	5,837	241
西部	638,056	21.8%	3,661	151
マハラシュトラ	397,556	13.6%	3,538	146
グジャラート	229,945	7.8%	3,805	157
ゴア	10,555	0.4%	7,236	299
南部	882,548	30.1%	3,490	144
タミルナドゥ	253,499	8.7%	3,514	145
カルナタカ	229,760	7.8%	3,761	155
アンドラ・プラデシュ	136,991	4.7%	3,216	133
テランガナ	135,014	4.6%	3,609	149
ケララ	120,554	4.1%	4,295	177
* ポンディシェリ	5,360	0.2%	3,602	149
* アンダマン・ニコバル諸島	1,371	0.0%	1,447	60
東部	457,297	15.6%	1,447	60
* 西ベンガル	170,363	5.8%	1,866	77
ビハール	83,786	2.9%	805	33
オリッサ	77,289	2.6%	1,841	76
アッサム	47,285	1.6%	1,515	63
ジャルカンド	45,299	1.5%	1,373	57
トリプラ	7,879	0.3%	2,144	89
メガラヤ	4,897	0.2%	1,650	68
ナガランド	4,166	0.1%	2,106	87
マニプル	4,484	0.2%	1,570	65
シッキム	4,346	0.1%	7,117	294
アナチャル・プラデシュ	3,956	0.1%	2,859	118
ミゾラム	3,547	0.1%	3,233	134

(注 1) *印は連邦直轄領。ダマン・ディーウ連邦直轄領、ダールダー及びナガル・ハヴエーリー連邦直轄領、ラクシャディープ連邦直轄領を除く

(注 2) 2019 年度平均為替レート (1 ドル=70.897 ルピー) を用いて換算

(出所) 中央統計局より作成

3. 地域別の経済動向

(1) 地域別の産業構造の特徴

①北部

中核都市デリーを含む北部では、全国に占める農業の割合（42.5%）が特に高いことが特徴的である。一方で、製造業の割合（26.1%）は西部、南部に比べて低い。これは、自動車など製造業の集積がデリーと周辺都市などに限られ、それ以外の地域では、まだ農業が主要産業であるためと考えられる。

②西部

中核都市ムンバイを含む西部では、北部とは逆に農業の割合（15.6%）が特に低く、製造業の割合（33.0%）が高いことが特徴的である。これは、近年マハラシュトラ州のプネやグジャラート州に自動車産業が集積していることが影響している。また、金融都市ムンバイが含まれるため、銀行・保険業の割合（31.7%）も高い。

③南部

中核都市チェンナイ、ベンガルールを含む南部では、建設業の割合（32.6%）やサービス業の割合（32.6%）が高いのが特徴的である。また、南アジアのデトロイトと呼ばれるチェンナイへの自動車企業の集積、インドのシリコンバレーと呼ばれるベンガルールやハイデラバードへの IT 企業の集積があるため、西部について製造業の割合（27.6%）が高くなっている。

④東部

東部の諸州では、州政府が工業化に消極的であったため、道路網や港湾などのインフラが未整備で、製造業など高付加価値産業の発展が遅れている。農業への依存が高く、国全体に占める GDP の割合も他地域に比べて低い。1人あたり GDP も全国平均を下回っている州が多い。近年は連邦政府の支援を受けた工業化の動きが活発になっていることや、東部の各州が鉱物資源（褐炭、鉄鉱石、銅、錫など）に恵まれていることから注目を集めている。

図表 24-4 地域別に見た名目 GDP の産業別構成比（2018 年度）

	農業		製造業	
	100万ドル	構成比	100万ドル	構成比
全国	281,267	100.0%	414,481	100.0%
北部	119,512	42.5%	108,015	26.1%
ウツタル・プラデシュ	32,889	11.7%	26,425	6.4%
ラジャスタン	17,012	6.0%	12,683	3.1%
マディヤ・プラデシュ	38,107	13.5%	10,521	2.5%
* デリー	85	0.0%	4,942	1.2%
ハリヤナ	9,317	3.3%	17,883	4.3%
パンジャブ	11,032	3.9%	9,336	2.3%
チャッティスガル	5,388	1.9%	5,985	1.4%
ウッタラカンド	1,564	0.6%	12,126	2.9%
ヒマチャル・プラデシュ	1,838	0.7%	6,288	1.5%
ジャンム・カシミール	2,278	0.8%	1,629	0.4%
* チャンディガル	2	0.0%	198	0.0%
西部	43,775	15.6%	136,909	33.0%
マハラシュトラ	23,822	8.5%	61,153	14.8%
グジャラート	19,686	7.0%	72,027	17.4%
ゴア	267	0.1%	3,729	0.9%
南部	64,122	22.8%	114,591	27.6%
タミルナドゥ	13,314	4.7%	48,347	11.7%
カルナタカ	17,098	6.1%	28,769	6.9%
アンドラ・プラデシュ	18,350	6.5%	12,174	2.9%
テランガナ	10,978	3.9%	13,434	3.2%
ケララ	4,252	1.5%	10,447	2.5%
* ポンディシェリ	64	0.0%	1,411	0.3%
* アンダマン・ニコバル諸島	67	0.0%	9	0.0%
東部	53,858	19.1%	54,966	13.3%
* 西ベンガル	21,529	7.7%	20,946	5.1%
ビハール	9,864	3.5%	4,639	1.1%
オリッサ	8,940	3.2%	13,604	3.3%
アッサム	5,465	1.9%	4,822	1.2%
ジャルカンド	3,226	1.1%	8,516	2.1%
トリプラ	1,661	0.6%	193	0.0%
メガラヤ	471	0.2%	379	0.1%
ナガランド	718	0.3%	47	0.0%
マニプル	811	0.3%	95	0.0%
シッキム	357	0.1%	1,663	0.4%
アナチャル・プラデシュ	552	0.2%	46	0.0%
ミゾラム	264	0.1%	17	0.0%

(出所) 中央統計局より作成

	建設業		銀行・保険業	
	100万ドル	構成比	100万ドル	構成比
全国	201,049	100.0%	145,155	100.0%
北部	73,983	36.8%	42,342	29.2%
ウッタル・プラデシュ	23,304	11.6%	7,309	5.0%
ラジャスタン	10,974	5.5%	4,278	2.9%
マディヤ・プラデシュ	9,804	4.9%	3,988	2.7%
* デリー	5,409	2.7%	14,080	9.7%
ハリヤナ	7,480	3.7%	4,799	3.3%
パンジャブ	4,406	2.2%	3,386	2.3%
チャッティスガル	6,259	3.1%	1,482	1.0%
ウッタラカンド	2,781	1.4%	925	0.6%
ヒマチャル・プラデシュ	1,513	0.8%	616	0.4%
ジャンム・カシミール	1,800	0.9%	774	0.5%
* チャンディガル	254	0.1%	706	0.5%
西部	31,292	15.6%	45,969	31.7%
マハラシュトラ	19,884	9.9%	34,813	24.0%
グジャラート	11,078	5.5%	10,786	7.4%
ゴア	331	0.2%	371	0.3%
南部	65,637	32.6%	39,655	27.3%
タミルナドゥ	24,716	12.3%	13,138	9.1%
カルナタカ	11,742	5.8%	10,367	7.1%
アンドラ・プラデシュ	9,072	4.5%	4,497	3.1%
テランガナ	5,280	2.6%	7,229	5.0%
ケララ	13,945	6.9%	4,219	2.9%
* ポンディシェリ	723	0.4%	172	0.1%
* アンダマン・ニコバル諸島	158	0.1%	34	0.0%
東部	30,137	15.0%	17,189	11.8%
* 西ベンガル	10,204	5.1%	7,932	5.5%
ビハール	6,449	3.2%	3,526	2.4%
オリッサ	4,561	2.3%	2,425	1.7%
アッサム	3,345	1.7%	1,425	1.0%
ジャルカンド	3,348	1.7%	1,243	0.9%
トリプラ	453	0.2%	191	0.1%
メガラヤ	271	0.1%	121	0.1%
ナガランド	364	0.2%	96	0.1%
マニプル	320	0.2%	74	0.1%
シッキム	177	0.1%	53	0.0%
アナチャル・プラデシュ	315	0.2%	52	0.0%
ミゾラム	330	0.2%	50	0.0%

(出所) 中央統計局より作成

		サービス業	
		100万ドル	構成比
全国		1,412,639	100.0%
北部		442,878	31.4%
	ウッタール・プラデシュ	108,465	7.7%
	ラジャスタン	62,379	4.4%
	マディヤ・プラデシュ	44,956	3.2%
	* デリー	87,310	6.2%
	ハリヤナ	48,953	3.5%
	パンジャブ	32,516	2.3%
	チャッティスガル	16,773	1.2%
	ウッタラカンド	13,576	1.0%
	ヒマチャル・プラデシュ	9,367	0.7%
	ジャンム・カシミール	13,484	1.0%
	* チャンディガル	5,099	0.4%
西部		289,868	20.5%
	マハラシュトラ	213,000	15.1%
	グジャラート	72,980	5.2%
	ゴア	3,888	0.3%
南部		460,344	32.6%
	タミルナドゥ	124,704	8.8%
	カルナタカ	137,060	9.7%
	アンドラ・プラデシュ	52,254	3.7%
	テランガナ	75,724	5.4%
	ケララ	67,254	4.8%
	* ボンディシェリ	2,454	0.2%
	* アンダマン・ニコバル諸島	895	0.1%
東部		219,550	15.5%
	* 西ベンガル	87,968	6.2%
	ビハール	48,675	3.4%
	オリッサ	26,820	1.9%
	アッサム	21,259	1.5%
	ジャルカンド	18,991	1.3%
	トリブラ	3,415	0.2%
	メガラヤ	2,873	0.2%
	ナガランド	2,382	0.2%
	マニプル	2,680	0.2%
	シッキム	1,299	0.1%
	アナチャル・プラデシュ	1,568	0.1%
	ミゾラム	1,621	0.1%

(出所) 中央統計局より作成

在インド日本国大使館とJETROの集計による、各年10月1日時点の日系企業の拠点数と日系企業総数である。日系企業の拠点数を州別で見ると、商業・金融都市のムンバイや産業が集積するプネを擁するマハラシュトラ州が拠点数787拠点（2021年）で最も多い。次いで、デリー近郊のハリヤナ州が600拠点（2021年）、南インド経済の中心都市であるチェンナイが位置するタミル・ナドゥ州が565拠点（2021年）と続いている。日系企業の数で見た場合、2019年から2021年ではほぼ横ばいで推移している。

図表 24-5 進出日系企業拠点数

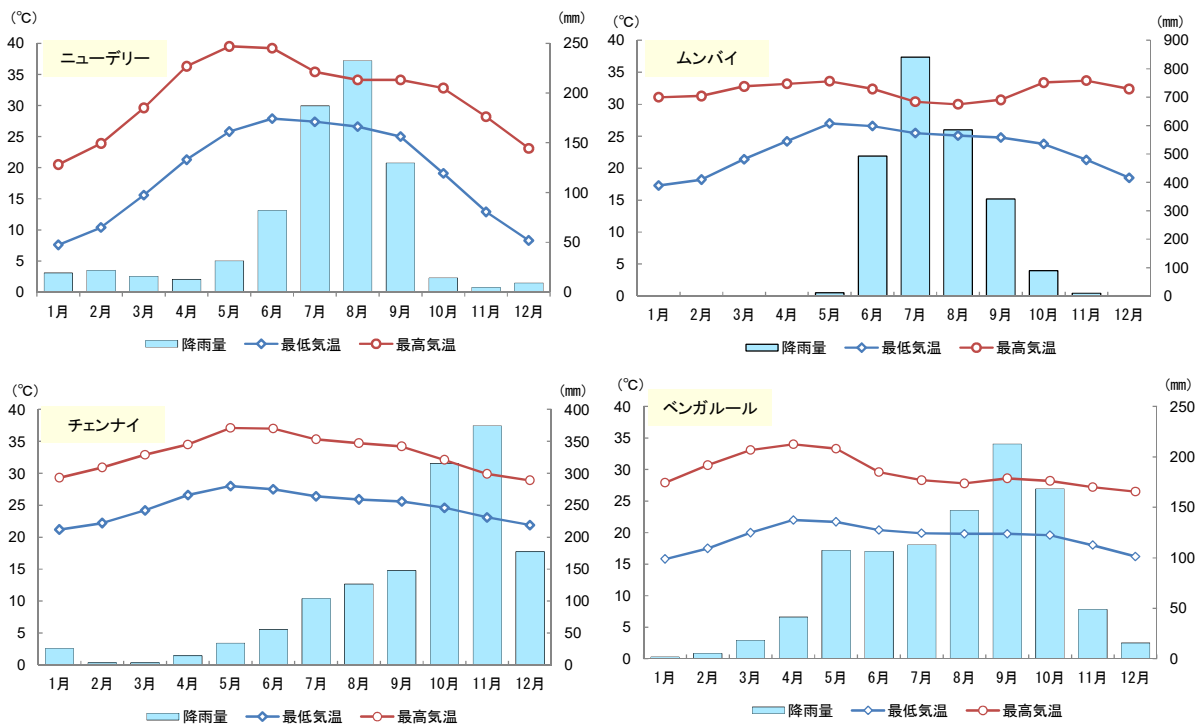
	2019	2020	2021
デリー準州	320	311	311
ハリヤナ	624	626	600
ウッタル・プラデシュ	316	314	299
ラジャスタン	188	182	170
チャンティガル	31	27	32
パンジャブ	87	85	77
ウッタラカンド	38	40	38
その他	114	113	120
首都圏近郊／北部／北東部インド計	1,718	1,698	1,647
西ベンガル	202	203	200
ジャルカンド	60	60	59
オディシャ	62	59	58
ビハール	71	69	70
東部インド計	395	391	387
マハラシュトラ	815	811	787
グジャラート	348	345	332
マディヤ・プラデシュ	117	115	109
ゴア	19	18	17
チャッティスガル	35	31	27
ダマン&ディウ	1	1	1
ダドラ&ナガルハベリ	3	2	2
西部インド計	1,338	1,323	1,275
カルナタカ	534	519	512
タミル・ナドゥ	600	589	565
アンドラ・プラデシュ	143	129	123
テランガナ	150	161	155
ケララ	133	128	117
プドゥチェリー	11	10	9
南部インド計	1,571	1,536	1,481
拠点数計	5,022	4,948	4,790
日系企業数	1,454	1,455	1,439

（出所）在インド日本国大使館、JETROより作成

【参考】地域別気候（一部再掲）

南北に国土の長いインドでは地域ごとに多様な気候が見られる。一般的に、北部・東部は気温が40℃から10℃以下と、年間を通じて気温差が大きく、南部は比較的気温差が小さく温暖である。また、南西部の沿岸はモンスーンの影響を受けやすい。図表 24-6 に主要都市の気温と降水量を示した。

図表 24-6 地域別の気温と降水量（再掲）



(注) 4都市とも1981-2010年の30年平均より算出
 (出所) インド気象庁 (India Meteorological Department) をもとに作成